



第74号 昭和40年12月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

……よい子に育てるための12章……

第9章 言葉がつくる子どものなまげなせ

「かわいそうだ」とか「もどかしいから」とか、つい親がなんでもしてしまいがちですが、将来、ひとの立ちなればならないのですから、機会あるごとに、働くことの尊厳を教え、たのしく働く習慣を身につけさせたいものです。



十年をふりかえり

さらに発展への努力を

菊花が咲くとき日、来賓ならびに功勞者、町内有志みなさんのご臨席のもとに、玉造町合併十周年記念式典を挙行いたしますことはわたくしの最も喜びとするところでもあります。

昭和三十一年一月一日に、旧玉川手賣、玉造、現原、立花の一町四か村が合併し、新しい玉造町が誕生してから、早くも十周年を迎えました。

十年とひと口に申しますが、町が今日まで発展しましたことは、多くの障害をのり越え、苦難を克服して、堅実な一歩一歩を築きあげたたまものであります。

この間、適切な指導をたまわった国、県、地域町村の関係者のみなさんと、新しい町づくりに絶大な熱意と努力を注がれた先輩、ご協力を続けた町民のみなさんに対し、心から敬意を表すると共に、深く感謝を申しあげる次第であります。

十年間の事蹟につきましては、記念発行の「十年の歩み」に記されており、ここに詳しく述べることはできませんが、各部門にわたって主なことがらを申しあげたいと存じます。

まず、行財政面については、新町建設計画にもとづき、地域に先

がけて近代的な役場庁舎の建築を昭和三十三年度に完成し、昭和三十六年度には、事務能率化をはかつて役場機構の大幅な改善を行ないました。

合併当時、五千四百万円であった予算は、現在一億、百七十万円と約四倍の規模となり、町の進展に呼応して諸事業を推進してまいりました。

納税成績は、県下でも優良であり、連続六年間金看板受賞の榮譽に輝きました。

次に、産業経済面においては、昭和三十一年、いわゆる「一曲かど」と称せられた農業事情に対処して、いち早く新農村建設計画を策定し、経営改善、土地改良等に数多くの成果をあげました。

「新農村建設計画」の構想は、更に発展して、農業構造改善事業へ引継がれ、農業近代化のための諸施策が進められています。

また、商店街には、昭和三十一年度、二灯式街路灯が点灯され店舗の改装も相つぎ、商況の充実とともに、合併当時と比べて、隔世の感がいたします。

教育面では、昭和三十一年度、科学技術教育の振興と、地域文化の向上を期して、県立玉造工業高等学校が設置され、また、昭和三十

十八年度には、中等教育、体育の充実をはかつて、統合玉造中学校の建築がすめられ、本年四月開校の運びとなり、過日第三期工事の完成を見るに至りました。

土木建設面においては、町の中央を縦走る主要地方道、石岡、潮来線の大半が、舗装、改良されジケタ上山線の改修をはじめ町道の整備が進められてきました。

社会福祉、衛生、消防の各般については、国民年金制度や国民健康保険事業の実施、母子健康センターや町営住宅の建築、機械化による消防力の充実などがあげられます。

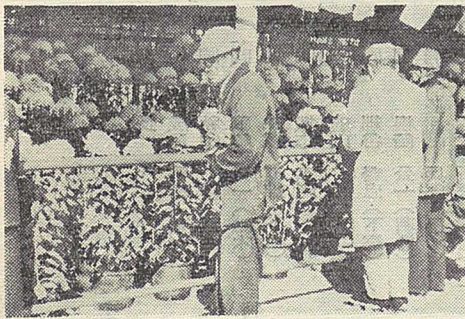
これら十年間の、輝かしい成果は、次の時代への出発点となるものであり、私たちは、今日の喜びを深く胆に銘じ、これを原動力として明日からの第二段の出発に一歩をふみ出す覚悟でございます。

いま、わが玉造町の周辺においては、調査を終り実施設計の段階にはいった高浜入千拓事業と、鹿島臨海工業整備地域の造成という経済社会の進展に即応した、農工一体の態勢が着々と進められています。

本町の将来は、これらの中にあつて、ますます繁栄の道を歩むことを堅く信じ、今日の町の発展につくされたみなさんのご努力に、あらためて敬意と感謝を表するとともに、なお、そのご指導とご協力を願ひいたします。

【十一月十三日、祝賀式における町長の式辞から】

- 雄(新)村松利子(新) 厚走 中沢英助(舟津)
三等 崎谷吉次(神洲) 外24点 磯山 秀(舟津)
○東部の部 厚 磯山 秀(舟津)
特等 山口 清一(羽生) 厚走 磯山 秀(舟津)
一等 藤崎 一男(徳木) 厚走 磯山 秀(舟津)
二等 菅目 沢治(中山) 厚走 磯山 秀(舟津)
三等 山口昭夫(羽生) 仲島均 厚走 磯山 秀(舟津)
(泉) 飯島具之(藤井) 小貴 厚走 磯山 秀(舟津)
義直(藤井) 厚走 磯山 秀(舟津)
○水産加工の部 厚走 磯山 秀(舟津)
特等 小津 壮而(上宿) 厚走 磯山 秀(舟津)
一等 松金 安治(西運寺) 厚走 磯山 秀(舟津)
二等 小津 壮而(上宿) 厚走 磯山 秀(舟津)
(新田) 厚走 磯山 秀(舟津)
三等 松金 安治(西運寺) 外5 厚走 磯山 秀(舟津)
点 厚走 磯山 秀(舟津)
○水稲立毛の部 厚走 磯山 秀(舟津)
特等 熊谷 武平(新) 厚走 磯山 秀(舟津)
一等 飯島 孝澄(井上) 厚走 磯山 秀(舟津)
二等 田山 英一(藤井) 厚走 磯山 秀(舟津)
山崎 由雄(羽生) 厚走 磯山 秀(舟津)
一等 小沼信行(岸沢) 高塚利 厚走 磯山 秀(舟津)
明(舟津) 萩原八重(加茂) 厚走 磯山 秀(舟津)
宮内千之(藤井) 森内忍(新 厚走 磯山 秀(舟津)
宿) 厚走 磯山 秀(舟津)
二等 山口昭夫(羽生) 外13点 厚走 磯山 秀(舟津)
☆菊花展示会 厚走 磯山 秀(舟津)
役場構内を会場として開かれ、 厚走 磯山 秀(舟津)
出品点数一九四の多数にのぼり、 厚走 磯山 秀(舟津)
みごとなできばえを競いました。 厚走 磯山 秀(舟津)
優秀な作品は、次のとおりです 厚走 磯山 秀(舟津)
厚走 宮久保長次(羽生) 厚走 磯山 秀(舟津)
厚走 郡司 武雄(北浦村) 厚走 磯山 秀(舟津)
厚走 久米かつ子(北浦村) 厚走 磯山 秀(舟津)
厚走 小島庄次衛門(西運寺) 厚走 磯山 秀(舟津)
厚走 沼田 詮章(宿) 厚走 磯山 秀(舟津)



☆学芸展示会
特別教室の一階に図画、二階に
習字を展示しました。
中学校の各クラス図画五品習字
一点、小学校の各クラス図画、習
字各五品、いずれも力作の作品
でした。

- ☆参考品展示会
特別教室の一階を会場とし、合併後十年間
の経緯を展示しました。
また、霞ヶ浦産の
真珠、あすなろ学園生
徒の手芸品等も陳列さ
れました。
☆農機具展示会
中学校校庭に設置し
えられた、五十コマの
会場に、トラクター、
耕うん機、精米機など
農業近代化の形が勢
ぞろいしました。
☆町民運動会
十四日、井上の高野助右衛門さ
ん宅を会場として開催し、参加者
五十九名が、日ごろの腕前を競い
ました。
成績は、次のとおりです。
射撃
1位 兼平 宏
(朝来町)
2位 兼平 隆
(朝来町)
3位 八文字八男
(北浦村)
4位 鍋谷次郎
(小川町)
5位 富家 福

- (菊花展示会)
1位 兼平 宏
(朝来町)
2位 兼平 隆
(朝来町)
3位 八文字八男
(北浦村)
4位 鍋谷次郎
(小川町)
5位 富家 福

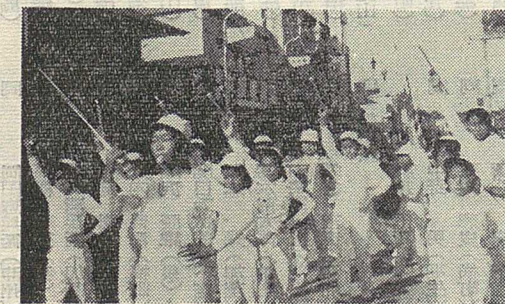
- 敢闘賞
高野助右衛門
兼平 宏
(朝来町)
2位 兼平 隆
(朝来町)
3位 八文字八男
(北浦村)
4位 鍋谷次郎
(小川町)
5位 富家 福

- ☆町民運動会
十四日、井上の高野助右衛門さ
ん宅を会場として開催し、参加者
五十九名が、日ごろの腕前を競い
ました。
成績は、次のとおりです。
射撃
1位 兼平 宏
(朝来町)
2位 兼平 隆
(朝来町)
3位 八文字八男
(北浦村)
4位 鍋谷次郎
(小川町)
5位 富家 福



(学芸展示会)

- ☆鼓笛隊パレード
十三日玉造・玉川・羽生・浜各小
学校児童により行なわれまし
た。
◎鼓笛隊パレード
十三日玉造・玉川・羽生・浜各小
学校児童により行なわれまし
た。
止のやむなきに至った



(鼓笛隊パレード)

- ◎鼓笛隊パレード
十三日玉造・玉川・羽生・浜各小
学校児童により行なわれまし
た。
◎鼓笛隊パレード
十三日玉造・玉川・羽生・浜各小
学校児童により行なわれまし
た。
止のやむなきに至った



のは、かえすがす残念でした。
☆野球大会
参加チームによつて争われ、
ハリケーンが優勝、町長杯を手
にしました。

☆寒い冬を少しでも暖かく過ごす
には、衣類の組み合わせをじょう
ずにするのがたいせつです。
それには、内側に空気を多く含
んだ材質(たとえば、パイル、メ
リヤスなど)を着て、外側には、
風を通さない目のつんだ織り物、
(サージ、ギャバ、デニムなど)
や皮製品を着るのがコツです。
さらに、厚手のシャツを一枚着
るよりも、薄手のものを何枚も重
ねて、空気の層をつくるようにし
た方が、ずっと暖かいです。
☆店先には、ほいものがたくさん
並んでいますが、それを無計画
に買つては、いくらお金があつて
も足りるはずがありません。また
ゆきあたりは、たいてい買いま
す。必要のないものを買い過ぎた
りします。
そのため、日ごろから必要な
ものを書き出しておき、買う順序を
きめておくことです。
そして、買う前には、どうして
も必要かどうか、ちよつとさう
すれば、今あるもので十分間に合
わないかどうかといったことを、
一応考えてみましょう。
☆なにげなく投げ捨てたたばこの
吸い殻がもたらす、思いがけない火
事をひき起こすことがあります。
たばこの火の温度は非常に高く
乾燥した場所では樹木が燃えやす
くなります。たばこは、火を完全に
消してから、必ず吸い殻入れに始
末するよう、一人一人が、よき
を心がけよう。

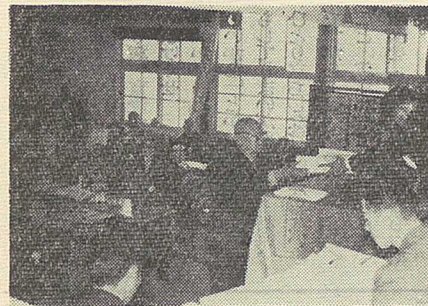
合併十周年のよろこび

功労者の表彰と 多彩な文化祭

- ◇ 玉造町合併十周年記念の祝賀式を、十一月十三日午前十時
から青年研修所で挙行し、同日から十五日までの三日間、
◇ 玉造中学校を会場として産業文化祭を開催しました。
◇ さる昭和三十年一月一日に五つの町村が合併して新しい玉
造町が誕生してから十年になり、この間、町民の生活につくさ
れた方々の功績をたたえ、一そうの発展を願つて式典をあ
げ、また諸産業の振興と、町民の慰安のための多彩な催しを
行なつて、全町をあげて、よき日を祝ひました。

祝賀式

式には、県議会議員千ヶ崎徳右
衛門、藤岡誠司先生をはじめ、野
口県町村会長、郡内および小川、
鉢田の各町村長と議会議員、鉢田
主事務所、鹿行振興事務所、麻



(功労者の表彰)

生地方教育事務所など関係機関か
ら来賓二百六十名が列席、受賞者や
町議会議員、区長、各種団体の長
など、約二百名が会場をうめつく
しました。
町議長の開式のことばは、ま
まり、君が代を斉唱してから、前
掲のように町長が式辞
を述べたあと、合併以
来のそれぞれの部門の
功労者に対し、感謝状
と表彰状、および記念
品をおくりました。
また、来賓のみならず
んから、お祝いのご
こばがあり、受賞者一同
を代表して、久米久良
区長会長から次のよう
な謝辞がありました。
「合併十周年記念のよ
き日に、栄えある表彰

をいただきましたことは、わたく
しどもの身に余る光栄であり、感
激にたえません。
十年前、新しい玉造町が誕生し
ましたが、その後、農業経営の近
代化と土地改良、商工界の振興、
県立玉造工業高校の誘致や中学校
の統合等教育施設の充実、社会福
祉施設の充実、舗装、改良等道路
の整備に、そして町民全般の生活
水準の向上に、わたしたちの想
像しなかったような素晴らしい発展を続
けてまいりました。
思えば、この十年間は、町長を
はじめとし、全町民一丸となり、
郷土愛に燃えて協力しあい、努力
を続けた年月でした。
このたびの表彰は、この努力を
続けてきた全町民に与えられるも
のであり、わたしたちも、その
代表として選ばれたものと存じま
す。
われわれ一同は、明るく豊かな
町づくりのために、一そうの微力
をつくし、今日の栄光におこたえ
する覚悟であります。」
このあと、小野口副議長の音頭
で、玉造町の万歳を三唱し、大崎
助役の開式のことばで、式典をお
わり、祝宴にうつりました。

産業文化祭

祝賀式の終了後、午後一時から
青年研修所を会場として開かれま
した。
玉造町詩吟クラブ発足五周年と
県南大会を兼ね、町の会員をはじめ

め、遠く水戸、土浦、石岡からも
同好者が集まり、百二十名の熱吟
が続けられました。また、大場玉
祥先生たちによる日本舞踊もひろ
うされ、盛大に終わりました。
席上、田辺仙之助さんに、優良
賞が授与されました。
☆農産物展示会
完成間もない中学校特別教室の
一階を会場に、一八〇品の農産
物が展示され、丹精こめたみごと
なできばえを競いました。
審査の結果、優秀な成績をあげ
た方は、次のとおりです。
なお、水稲立毛の審査結果も発
表されました。
○米穀の部
特等 笹目 孟(谷島)
一等 貝塚 国男(浜)
二等 金塚孝一(西運寺) 斎藤
勝美(小座山)
三等 八木 実(中山) 外3点
○雑穀の部



(農産物展示会)

- 特等 藤崎 昇(徳木)
一等 皆藤 太一(神洲)
二等 松沢 茂(加茂)
三等 大場正雄(泉) 金崎敏雄
(西運寺) 千ヶ崎邦雄(岸
沢) 栗原欣也(徳木)
○野菜の部
特等 杉山慶孝(徳木) 外6点
一等 川尻 静雄(新) 青木 一雄(新)
二等 成島 芳雄(泉) 堀田 友司(小座山)
三等 熊谷 武平(新) 青木 幸雄(新)
中島 正雄(横須賀) 村松 健一(新)
成島 文子(泉) 田中 幸右衛門(泉) 田中 清光(泉) 堀田 友司(小座山)
堀田 利男(小座山) 堀田 正広(小座山) 森内忍(新) 村松 健一(新) 青木 一雄(新) 茂木忠
(3面へつづく)



(詩吟大会における舞踊)

町政日誌	
9月	1日 農業構造改善協議会 3日 自作農組合役員会 6日 乳児検診
10月	1日 国勢調査 母子健康センター運営委員 会
11月	12日 農業委員会農地部会 13日 青年問題協議会 21日 農業委員会農政部会 25日 農業委員会総会 27日 消防団役員会 臨時町議会
12月	8日 青年研修所運営委員会 臨時町議会 11日 教育委員会 12日 合併十周年記念祝賀式 13日 産業文化祭 14日 産業文化祭 15日 玉造工業高校体育祭 合同ひきこぎ大会 18日 孝子作像 除幕式 25日 農業委員会総会 27日 民生委員協議会

祝賀会

受賞のみなさん

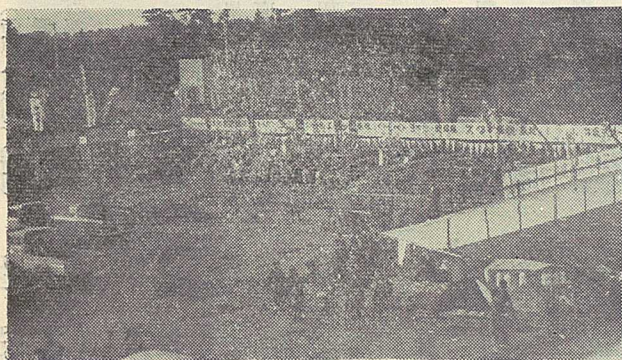
感謝状

前職者
町長 磯山 秀(舟津)
助役 箱根 由雄(諸井)
同 石田 三雄(芹沢)
収入役 飯島 正(横町)
議長 大崎 庄司(八木崎)
同 細谷 賢忠(下宿)
同 栗原 志良(横町)
同 笠合 光雄(宿)
農業委員会 石田 三雄(芹沢)
教育長 小沼 巧(八木崎)
同 大森 隆(西蓮寺)
町出身労働者 町出身労働者
教育委員長 成島 秀吉(泉)
秋山 甲(羽生)
藤崎 元一(捨木)
井坂 道雄(下宿)
坂本 幸蔵(根古屋)
磯山 保竹(下宿)
細谷 賢忠(下宿)
根崎 公一(若海)
消防団長 兵部(里)
同 鈴木 新吾(下宿)
選挙管理委員長 飯島 内蔵(藤井)

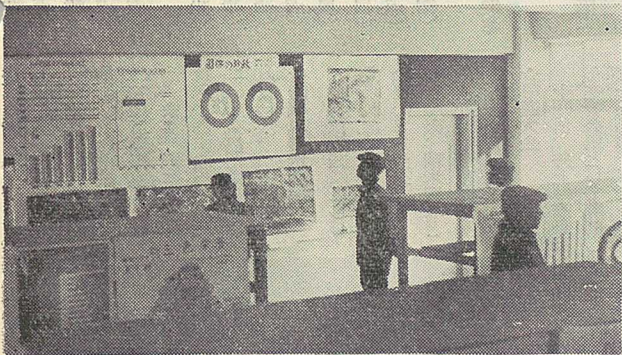
表彰状

大和田熊蔵(東京)
渡辺 昇祐(東京)
金塚 家雄(東京)
中学校第二期工事関係
設計者 柱建築設計事務所
施工者 山形工務店
特別功勞者
鈴木 勝次(荒瀬)
伴田 亘(藤井)
磯山 武雄(新宿)
小野口 勇一(加茂)
島田 彦衛門(高須)
平岡 要(芹沢)
大曾根倉次郎(芹沢)
荒井寅次郎(浜)

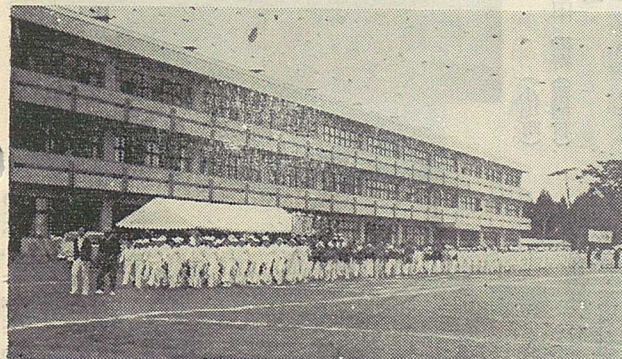
同 菅目 義男(谷島)
同 笠合 光雄(宿)
同 橋本 次郎(諸井)
同 小野口 清(加茂)
同 島田 寛(高須)
同 荒木 盛(上山)
同 大和田徳男(柄貝)
同 菅目 正義(若海)
同 菅目 義男(谷島)
同 鈴木 一二(沖州)
同 久米 久良(下宿)
同 堀田 西男(小盛山)
同 伊藤 春雄(横町)
同 菅目 真(緑丘)
同 根崎 公一(若海)
同 岩本 誠(柄貝)
同 長崎 貞之助(川向)
同 小野口 栄治(加茂)
同 岡田 悠兵衛(沖州)
同 高橋 雅雄(宿)
同 栗野 清兵衛(加茂)
同 川島 徳重(下宿)
同 武内 豊治(横町)
同 黒沢 辰雄(泉)
同 関口 次郎(下宿)
同 坂本 録(加茂)
同 清水 巨太郎(中山)
同 山崎 次郎(羽生)
同 崎谷 吉次(沖州)
同 納税組合長
武井 正衛(西蓮寺)
中野 勇(羽生)
栗原 志良(横町)
菅目 真(下宿)
柴田 隆(横須賀)
石田 庄蔵(芹沢)



(農機具展示会)



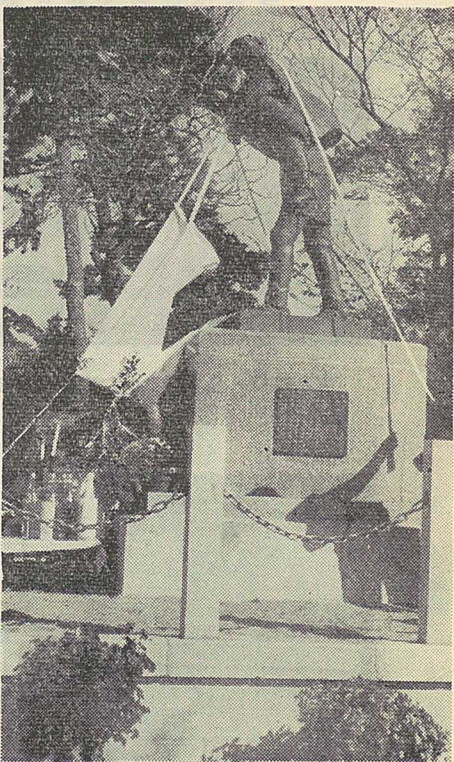
(参考品展示会)



(町民運動会の入場式)

同 坂本 雅夫(八木崎)
同 農業協同組合長 出沼 恒松(新宿)
同 農業共済組合長、漁業協同組合長 高塚 吉雄(舟津)
同 選挙管理委員長 青木 幸夫(下宿)
同 飯田 修竹(下宿)
同 郡司 忠夫(西谷)
同 監査委員 成島 寛次(泉)
同 同 鈴木 一二(沖州)
同 消防団員 中沢 喜一(宿)
同 統計調査員 中沢 喜一
同 民生委員 坂本 要(沖州)
同 同 鈴木 憲然(西蓮寺)
同 同 小谷 妙春(谷島)
同 同 根崎 藤樹(西蓮寺)
同 同 大和田忠雄(里)
同 同 成島 秀吉(泉)
同 同 根本 良尚(西蓮寺)
同 同 小野口 博(川向)
同 同 坂本 富美江(根古屋)
同 同 金田 清明(柄貝)
同 同 筒井 一雄(羽生)
同 同 遠藤 トシエ(上宿)
同 同 石田 栄次郎(舟津)
同 同 土地改良 西谷 孫一(西谷)
同 同 千ヶ崎 誠一(八木崎)
同 同 商工会 菅谷 善(下宿)
同 同 衛生 金塚 家雄(横須賀)
同 同 文化 白井 正幹(上宿)
同 同 道路愛護 堤 一良(上宿)
同 同 公徳心 若泉 富蔵(芹沢)
同 同 谷田 寅次郎(泉)
同 同 斎藤 弘次(諸井)

母をいたわって背負う
孝子弥作の像を建立



倒されてしまいました。

孝子弥作は、親孝行のかぐみとして世に知られ、故郷の誉れとなされ、いまも、その銅像が浜部落の東福寺の境内に建てられ、十一月十八日に除幕式が行なわれました。

高さ二メートルの台石の上に、老母を背負って、農作業にでかける弥作の像は、敬老精神のこめられ、あなごの世に、尊い数えとなるでしょう。

この像は、昭和三十三年に、隣村北浦出身の、元貴族院議員高柳淳之助さんが、稲敷郡牛久町の公園に建てたのですが、最近、公園が他人の手に渡り、工場が建設されることになって、この銅像が

孝子彌作の顕彰の碑

孝子弥作は、今から三百三十二年、寛永十一年に常陸国行方郡玉造村の貧しい家に生まれた。父を早く失ったので、足腰立たぬ母の手一つで育てられ、十歳のころから日雇いに出て生活費をかせいだ成人してから、せめて人並みの生活を考えて、精進をめて働いたが、その効など、底生活から浮びあがれないまま、長い歳月が流れていった。

彌作は、外見は粗野であったが、その性質は純情で、とくに母を思う心が厚く、母とともに自立の喜びにひたると、最大の念願として、早くから貧しさの克服に全力を注いだ。また、ともすれば暗くなりがちな母の心を明るく豊かにしようと、朝に夕に

にこやかな顔やあたたかい言葉で接した。とくに立ち居の不自由な母に、るすいの寂しさを感じさせまいと、田畑に出る時はいつも、祭日や縁日にも必ず背負って連れていった。さらに食物にも気を配り、えびや魚を捕えてきて、もてなしたり時には好物の酒をととのえて飲めた。

母は、心づかいに生気を取りもち、ある日、村の道ぶしに、出る弥作のために、飯びつ底をたたいて作った握り飯を、喜ぶの心を示した。しかし、弥作はその半分をたべ、残り半分を母のために持ち帰って、その心に答える愛の情を深めた。その後、寒い冬の夜には、夜具もなくて寝た。母は、自分の着物を脱いで掛けてやるが、年ごとに弥作の孝心は高まって、初め冷たい世の人人までも感動させた。

延宝二年四月、十三日、これを耳にした水戸義公は、潮来お成りの途中この地に立ち寄り、弥作を馬前に呼んで、恩賞として金拾両を授けて励ました。その事跡を国中に広められた。

その後、わずか六年にして母はこの世を去った。弥作はその霊を弔いながら、用畑を買い、妻を求め、安楽な生活に入り、宝永八年八月二十九日、七十一歳の長寿を保って

永眠した。

それから約百二十年の間に、弥作のあどは絶えた。文政五年、時の庄屋大場伊衛門は、村人と謀り、遠縁にあたる井川久兵衛の次男弥作を立てて、跡目を継がせ再興した。当主彌作は、その五世の孫である。また、その墓に、墓表を立て、現在に至っている。

明治十二年、明治天皇は、道徳教育を振興するため、幼学綱要を編集せしめ、弥作の事跡をその巻頭に掲載された。

今春三月、玉造町民は、弥作の事跡と孝行の大義が、時代の風潮によって押し流されようとする現状を嘆き、相とぞって孝子弥作顕彰会を結成し、さきに高柳淳之助が顕彰した弥作の銅像を譲り受けて、墓側に復元建立し、また、ここに顕彰の碑を立てるに至った。まことに時宜を得たものというべきである。

思ふに、弥作の偉大さは、方人がいなく親を思う心を何ものにも奪われることなく、また、何ものにも妨げられることなく、実行した所にある。その心の声は、これを仰ぐ人の胸に、没後二百六十年の今日なお松風の音とともに伝わるであろう。

昭和四十年十一月十五日
岡里 利隆 選及び書
孝子弥作顕彰会 立 石

県展入選者

十一月九日から十八日まで、水戸市で開かれた、第千回茨城県美術展覧会に出品して、入選したかたは、つぎのとおりです。

洋画 中山 隆 高須 敬司
彫塑 栗原 静代 青木 栄
書道 栗原 静代 曾根 広
田 修
写真(入賞) 高野 繁機
また、同時に開かれた、第十二回、こども県展の入選者は、つぎのとおりです。

絵画・デザイン部
一年 玉川小 田中 月江
二年 玉川小 関野 正夫
三年 浜小 荒井 久子
四年 玉川小 関口 勝夫
五年 玉川小 野原 亨子
六年 玉川小 川島 雪江
七年 玉川小 長谷川 澄子
八年 玉川小 茂木 みどり
九年 玉川小 小野口 和章
十年 玉川中 高須 行夫
一年 山口 理
二年 栗又 亨子
三年 鈴木 清美

習字部
一年 手賀小 杉沢 明良
二年 手賀小 磯山 計久
三年 大輪 芳子
四年 下河辺 澄子
五年 伊藤 久美子
六年 玉川中 仲田 みづ子
七年 宮本 昌子



(新聞を読む羽生さん)

成人式を迎えるかたは、公民と

成人の日を 迎えるかたへ

新春、一月十五日は、満十歳になった青年男女に、社会人としての義務と責任を与えて、その成長を祝う「成人の日」です。町では、例年のおおきく、青年研修所へ講習者を招き、式典を行なう計画になっています。

この日は、女子の服装の簡素化運動が実現し、ほとんどのかたが洋服で参加されましたが、こんどの式も、この慣習を続けられることを望んでいます。

原稿募集

提出先 玉造町役場内

〇しめきり 昭和41年1月10日

〇提出先 玉造町役場内

検察審査員に 土子さん

詐欺・おとし・暴力など犯罪の被害を受け、訴えたが検察官がその事件を裁断にかけない、どうもはかばかしい、なっとくできない、こんな不満をどう訴えたらよいか迷っているかたは、あきらめず、検察審査員に相談してください。

国は、このような被害者を泣きねいりさせないため、不服申立てを受け、審査会で不起訴処分のないしあを調査し、国民の声を聞いて不満のない、明るい社会をつくることに努めています。

審査員は、町の選挙権のある資格者です。

表彰

〇玉造町社会福祉協議会(会長久米久良)は、十月六日、水戸市でひらかれた県社会福祉大会で「多年にわたる社会福祉事業に貢献したことにより、県社会福祉協議会会長から表彰を受けました。」

〇玉造町は、十一月二十六日、「赤ちゃんコンクール」に熱心な努力をなし、受診率に最も優秀な成績をあげ、表彰されました。

おとしよりの おくりもの

九月十五日の「老人の日」に、八十歳以上のおとしよりのかたへ、長寿をお祝いし、感謝品をおくりました。

これは、婦人会の協力で、町と町社会福祉協議会からおくりものとして、毎年の年中行事となっていますが、この日は、とくにかわい小学生から「おじいさん、おばあさん、いつまでもお元気で」という手紙がおくれ、一そう明かるい花が添えられました。

また九十歳以上のかたには、果物のおくり物があがりました。

地区	男	女	計
玉川	七二	二八	一〇〇
手賀	七二	一八	九〇
玉造	一三	二七	四〇
現原	一〇	二七	三七
立花	一〇	二五	三五
計	四七	八八	一三五

〇町の最年長は、沖洲の羽生もむさん(96歳)で、そのほか、九十歳以上のかたは、井上の郡司はつさん(94歳)羽生の井野場はるさん(93歳)浜の貝塚やすさん(92歳)下宿の関口はるさん(91歳)西運寺の根元むらさん(90歳)です。

〇八十歳以上のかたの数は、つぎのとおりです。

〇町の最年長は、沖洲の羽生もむさん(96歳)で、そのほか、九十歳以上のかたは、井上の郡司はつさん(94歳)羽生の井野場はるさん(93歳)浜の貝塚やすさん(92歳)下宿の関口はるさん(91歳)西運寺の根元むらさん(90歳)です。

〇八十歳以上のかたの数は、つぎのとおりです。

最年長の羽生さん

羽生もむさんは、明治二年九月二日生まれで、沖洲部落の農業、唯夫さんの祖母にあたります。九十六歳とは思えない元気で、ふだん、ひひと孫の唯君(四歳)の遊び相手をしたり、ふたき、畑の草むきまわしをしています。

病気をせず健康で、新聞や雑誌は、めがねをかけないで読み、テレビの連綿ものなども見ているとのこと、長寿のコツをたずねますと、

「平凡に、気なりに暮らすことが何より。野菜は何でもたべ、魚類は煮たもので生ものにはたべない」と答えてくれました。

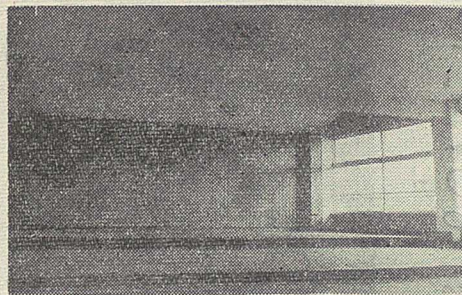
おとしよりの善行

〇上宿、下宿、川回、部落の老人クラブ第三委員会(会長島本源吉さん、会長八上三子)では、九月十四日、大宮神社わきの、忠霊塔の敷地の清掃を実施しました。

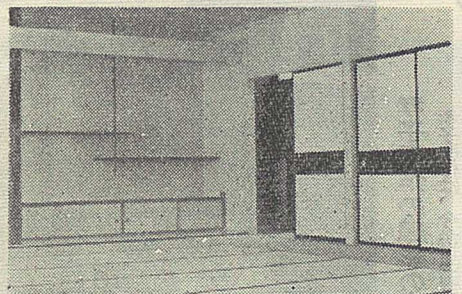
また、さうきん四百十枚を、善行銀行に預託し、小中学校へおくりました。



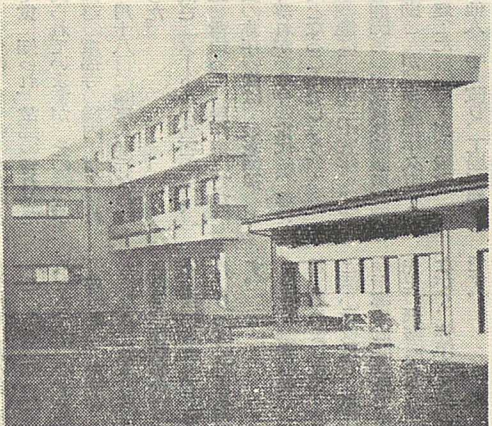
(谷島) 立花 龍吉(沖洲)山中俊男(羽生)宮本武雄(八木時)関口隆(浜)荒井みき(浜)



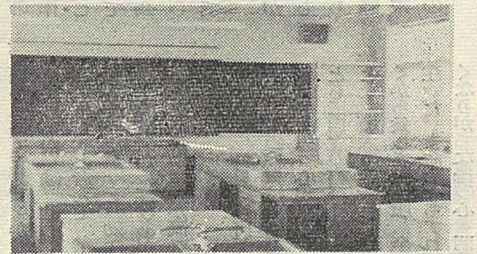
(音楽教室・段階のついた床と波型の天井)



(礼法教室・床の間のついた和室大広間)



(外部)



(化学教室・便利な実験施設)

玉造中学校 特別教室が完成

玉造中学校の第二期工事として、四月二十五日に着工した、特別教室の内容は、つぎのとおりです。

一階 調理教室 一三五平方

冬休みは、期間中に年末年始をむかえ、一年間の生活を反省し、新しい手に前進する計画をたてたい時期です。

また、家庭の諸行事に参加して社会性を養うとともに、自主的な学習をすすめるよい機会です。

この冬休みを、有意義にすごすよう、つぎのことがに留意して指導します。

冬休み中の生徒の指導

〇家庭学習 毎日の計画を立て、不得意な教科の学習につとめます。

学校から出され課題は、かならず提出します。

進学生にとっては、受験勉強の

化学教室 一三五平方
準備室 二四〇
理科教室 六八〇
その他、廊下・便所・階段室
渡り廊下など
一階 被服教室 九〇平方
準備室 三四〇
礼法教室 六八〇
美術教室 一三五〇
準備室 三四〇
その他、更衣室、廊下、便所
階段室、渡り廊下など
二階 図書室 一三五平方
書庫 三四〇
音楽教室 一〇三〇
準備室 二四〇
その他、廊下、便所、階段室
など



宮本純さん

十月十九日からひらかれた、臨時町議会の同意を得て、教育委員に西谷喜成さん(五九歳・玉川根古屋)を任命しました。

なお、大森隆さん(教育委員は九月三十日まで、任期満了となり)は、十一月十一日ひかれた教育委員会、教育長に

宮本 純(五〇歳)玉造町教育委員長に

根崎 公一(五五歳)現原若海の両氏を選任しました。

教育長になった宮本さんは、大正四月二十八日生まれ、昭和二年三月、玉造小学校を卒業、昭和十六年三月、旅順工科大学機械科を卒業、兵役、会社勤務のち昨年十月十二日、教育委員に任命されました。

駐車禁止区域に指定

玉造地区の商店街

近ごろ自動車が増え、玉造地区の中心商店街では、路上にとめておく自動車の数が多くなり、安全な運転ができない状況になりました。

区長会をはじめ各方面から、早急にこれを解決するよう要望しましたが、その必要性が認められ、県公安委員会が全面駐車禁止の指

定があり、十月十八日から実施になりました。

運転者のみなさんには、交通を明く安全にするため、一そうの積極的な協力をお願いします。

○実施場所(図面のとおり)

①玉造町駅前から玉造郵便局前までの間、二五七メートル

②谷島・関町長寿さん方前から諸井・関口文太郎さん方前までの間、一〇二七メートル

○実施時間

二十四時間(時間の制限がありません)

○適用車種
全自動車。ただし、一輪の自動車を除きます。

酒飲み運転による事故をなくしましょう

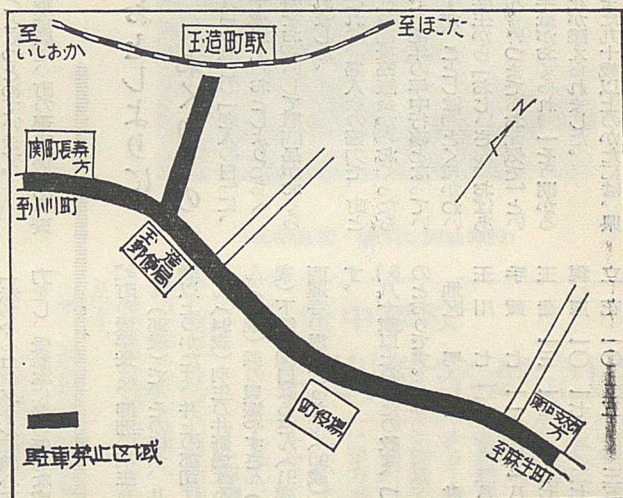
①バイク・自動車を運転するとき絶対酒を飲まない。

②バイク・自動車を運転してでかけようとする人には、絶対に酒をすめない。

※国勢調査の結果※

十月一日現在で行われた、第十回国勢調査のあらましを集計しました。

こんどの調査には、調査員のかたをはじめ、町民みなさんの協力をいただき、順調に実施できましたことを、あつくお礼申し上げます。



青少年を

明るく正しく育てよう

青少年の健全育成は、国をあげての大きな課題で、その対策や施策が、年々たくさん出されています。しかし、末端では、施策が機関ごとにながれて、不統一の傾向が強まってきました。

こんど、町では、これらを連絡調整し、総合化して、効果のある施策をすすめるため、青少年問題協議会を設け、十月十三日、発会式をあげました。委員は、次のとおりです。

青少年相談員

町と厚生警察署から、つぎのかたが、青少年相談員として、委嘱されました。

久米 正良(下宿)
福田 善衛門(羽生)
原田 茂(若海)
小津 栄(宿)

相談員の誕生した目的は、地域の人々の協力により、青少年の健全育成の対策の中心となる一方、非行防止に協力することです。

活動の内容は、ふたつの生活をとおりて地域の青少年の非行を早くみつけて警察に連絡することや祭礼や催しものなどに警察官と協力して街頭指導をするなどです。このほか、町青少年問題協議会などと連絡をとって、青少年団体の指導にもつとめます。

具体的には、町の

①青少年の実態をよくつかんで、いろいろな青少年問題の相談相手となる、その指導と解決につとめる。

②青少年団体の組織と活動の助長促進をはかる。

③非行青少年の発見につとめ、その措置については、児童委員、児童福祉司、警察署などの関係機関とよく連絡し協力するとともに、必要ときには、その青少年や家庭を指導する。

④そのほか、青少年の保護育成につとめる。

などが主な仕事です。

少年問題の取扱については、特に秘密を守つて当りますから、ご家庭のみなさんは、積極的に相談をされよう、お願いいたします。

桃浦庭球クラブが優勝

―石岡市庭球大会で―
十二月十四日、石岡第二高等学校で開催された、第四回石岡市長杯争奪庭球大会で、桃浦クラブが優勝杯をとりました。

チームメンバー、成績は、つぎのとおりです。

藤本・平山・筒井・中野・今泉
川並・駒野・阿部
桃浦 4-0 石岡豊試
4-0 石岡精工社
4-0 石岡市役所
3-1 石岡クラブ

おわび

合併十周年を記念して「十年の歩み」を発行し、全世帯におくはりました。が、編集の誤りで、17ページの青年研修所の写真が、次のものといれちがいました。

